

地域と育む だれもが行きたくなる学校

梅雨の合間に夏の日差しを感じる頃となりました。保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご支援をいただき、心より感謝申しあげます。

本校では、「だれもが行きたくなる学校」を学校づくりの柱として教育活動を進めています。その実現には、学校だけでなく、家庭や地域の皆様と力を合わせて子どもたちを育てていくことが欠かせません。

6月の参観日には、多くの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。子どもたちの学習や学校生活の様子をご覧いただき、学校と家庭がともに成長を支えていることを改めて感じる機会となりました。

本校では体験を通した学びを大切にしています。2年生は地域の皆様のご協力のもとサツマイモの苗植えを行い、土に触れながら農作物を育てる工夫や苦労を学びました。青木様を中心に、JA 加古川南様、北野新田農会様、地域の皆様に毎年変わらぬご支援をいただいておりますことに深く感謝しております。

今年度は創立 50 周年の節目の年でもあります。6月には記念事業の一環として航空写真や学級写真の撮影を行いました。子どもたちにとっても、自分たちがこの歴史ある学校の一員であることを実感する機会となりました。さらに、兵庫県立農業高等学校の生徒の皆さんによる中庭改修事業も始まっています。中庭改修は、子どもたちにとって学校が多くの方々を支えられていることを学ぶ機会にもなっています。

50 年という歴史は、これまで本校を支えてくださった地域の皆様や保護者の皆様のご尽力の積み重ねによって築かれてきたものです。この節目の年を機に、改めて地域とのつながりを大切にしながら、次の 50 年につながる学校づくりを進めてまいります。

7 月には個人懇談会を予定しております。1 学期の学校生活を振り返りながら、お子様の成長や今後の目標について共有し、よりよい支援につなげていきたいと考えております。

地域の宝である子どもたちのために、これからも学校は、家庭・地域と力を合わせ、「だれもが行きたくなる学校」づくりを進めてまいります。今後とも本校教育へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

校長 小宮 美和



なかよし学級のお店
お客は 先生限定。
お客さんの顔を見て、
大きいものを渡したい
な…、数が多いものが
喜んでもらえるかな…
などと考えながら品物
を選んでくれる親切な
店員さんたちでした。



県農生の指導で 園芸委員会児童が花の苗作り